

一般社団法人 日本地質学会

関東支部総会

2013年度 活動報告

2014年4月19日（土）

2013年度総括 活動方針及び活動

- × 第1の柱: 2016年学術大会成功へ！
 - (1) 準備態勢の確立 会場決定、準備委員会発足(2013.2.24)
 - (2) 具体作業の開始 サミット第2弾伊豆衝突帯・巡検の検討
- × 第2の柱: 戦略的重点領域への取り組み
房総学生フィールドキャンプ
- × 第3の柱: 関東全域、1都6県での活動
塩原教師巡検
- × 第4の柱: 会員サービスの拡充
ミニ巡検を含めた巡検の充実
- × 第5の柱: 支部組織強化
地方区理事選出方法の提案

関東支部幹事会 (1回/月)

- ◆ 4/13 総会
- ◆ 5/9 第1回 幹事会 (2016年大会準備行事計画)
- ◆ 6/21 第2回 幹事会 (立川断層勉強会他)
- ◆ 7/17 第3回 幹事会 (フィールドキャンプ他)
- ◆ 8/7 第4回 幹事会 (富士山巡検他)
- ◆ 9/27 第5回 幹事会 (伊豆衝突帯サミット他)
- ◆ 10/29 第6回 幹事会 (ミニ巡検、次期体制他)
- ◆ 11/20 第7回 幹事会 (伊豆衝突帯サミット他)
- ◆ 1/16 第8回 幹事会 (2016年大会準備会他)
- ◆ 2/18 第9回 幹事会 (支部功労賞・予算他)
- ◆ 3/20 第10回 幹事会 (総会準備・次年度計画他)

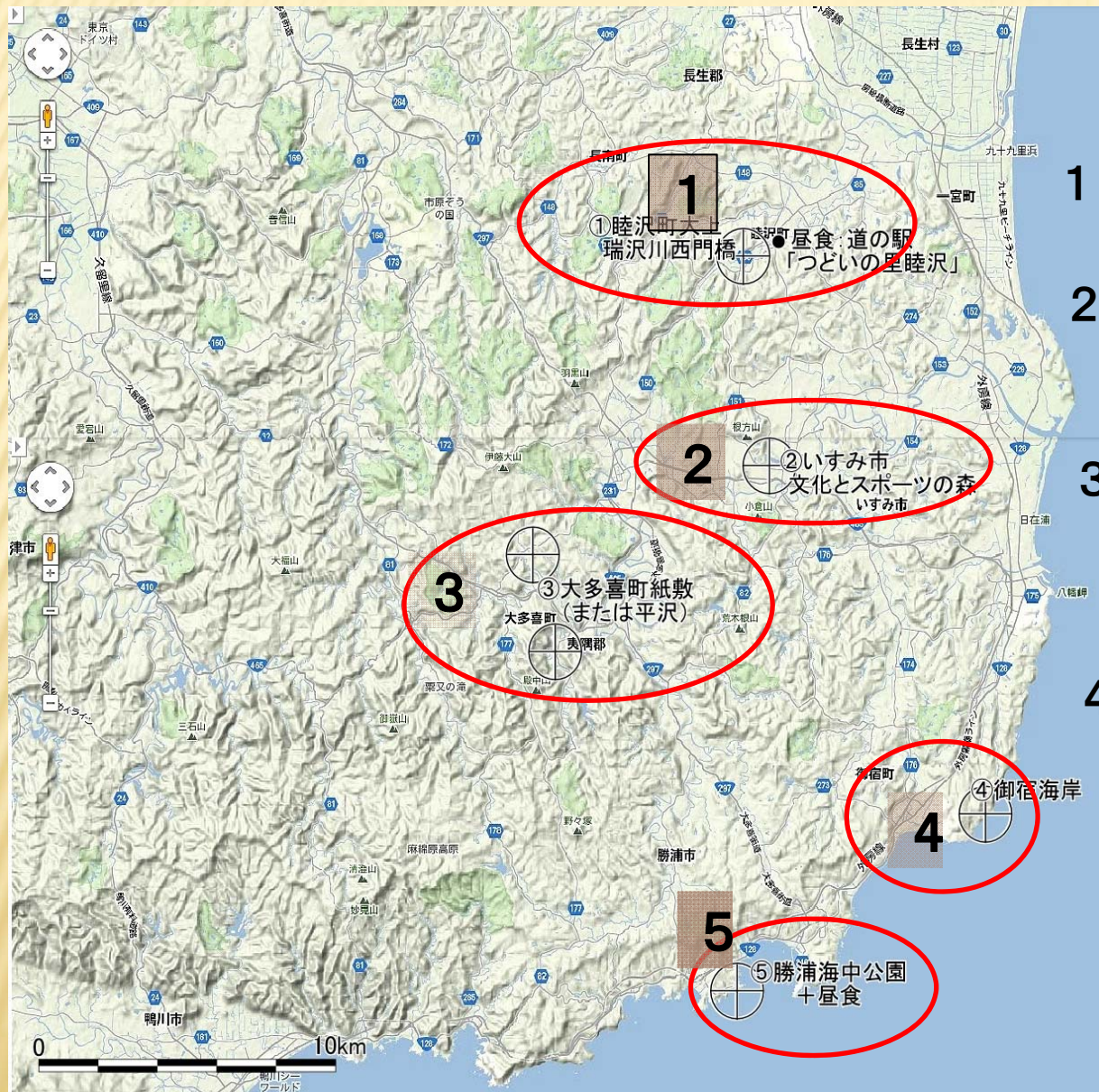
2013年度活動

- × 1. 地質技術伝承講演会（4月13日 会場：北とぴあ）
- × 「土石流の実態と防災対策」（講師 今村遼平 アジア航測（株）顧問）
- × 共催：関東地質調査業協会 参加者：60名
- × 2. 地質見学会
- × ・ 第三回ミニ巡検 房総南東部の正断層群（5月26日、27日）参加者：17名
- × 案内者：小玉喜三郎（元産総研）、衣笠善博（元産総研）、
- × 岩本広志（関東天然瓦斯開発㈱）、宮内崇裕（千葉大学）
- × ・ 塩原化石巡検（8月7日～9日）参加者：8名
- × 案内者：青島睦治（元栃木県博）
- × ・ 第四回ミニ巡検 丹沢（11月30日、12月1日）参加者：15名（うち学生4名）
- × 案内者：谷健一郎（国立科学博物館）、桑谷 立（東北大学）
- × ・ 富士山巡検 富士山北麓周辺 11月3日、4日 参加者：29名
- × 案内者：千葉達朗（アジア航測㈱）
- × 3. 緊急研修会
- × ・ 立川断層緊急研修会（7月27日 会場：日本大学文理学部） 参加者：107名
- × 山崎孝成（国土防災技術㈱）、北誥昌樹（東京工業大学）、
- × 見掛信一郎（日本原子力研究開発機構）、田中耕一（鹿島建設㈱）

- × 4. フィールドキャンプ（8月19日～24日 千葉県鴨川市清澄 東大千葉演習林）
- × 京都大学と一緒に 参加者：学生4名＋担当幹事3名
- × 10月26日にまとめの勉強会（日大文理学部）
- × 5. シンポジウム 第2回地質研究サミット（11月23日、24日 共催：横浜国立大学）
- 伊豆衝突帯地質研究サミット参加者：170名
- × 6. 2016年大会関係
- × 会場下見、仙台大会視察依頼、第1回準備委員会（2月24日：日大文理）
- × 7. 協力、後援、共催行事
- × 本会関係：地質の日イベント、地質調査研修会（春季・秋季）、
- × 仙台大会応用地質部会夜間小集会（中止）、
- × 秩父ジオパークのジオツアー（6月16日）
- × 茨城大学液状化フォーラム（3月8日）
- × 8. 支部総会（4月13日 会場：北とぴあ）
- × 活動報告，会計報告，活動計画，予算案
- × 9・支部功労賞授与（2団体）
- × 埼玉県立自然の博物館、早稲田大学高等学院理科部地学班
- ×

房総ミニ巡検(房総南東部の正断層群)

2013/5/27-28



1. 断層破碎帯からのガス湧出

2. 南北性正断層 共役関係

3. 落差100mの南北性正断層

4. 東西性小断層

5. 黒滝不整合

参加者の夜の交流会



参加者の記念写真



緊急研修会

『地表付近の地質学的調査における 応用地質学的・土木地質学留意点』

2013/7/27

於 日本大学文理学部



立川断層トレンチ問題を受けて、地表部での“人工構造物”や“人工改変”を見分けるために必要となる、応用地質学的な基礎的理論・知識を学ぶために、土木工学系の講師4名を招き緊急研修会を実施した。

受講者数：113名（幹事含む）

講師の先生方と演題



『土木建設工事に伴う人工的な地盤改良の事例と見分け方』

田中 耕一 先生 （（株）鹿島建設）



『我が国の地盤改良技術 -臨海部の軟弱地盤・埋立地を中心に-』

北詰 昌樹 先生 （東京工業大学）



『グラウチングによって亀裂性岩盤に形成される組織と構造』

見掛 信一郎 先生 （（独）原子力研究開発機構）



『すべり面の実態と斜面の安定 -すべり面は断層面に似ているか?-』

山崎 孝成 先生 （国土防災技術（株））

清澄フィールドキャンプ (東京大学千葉演習林にて実施)

2013/8/19-24

昼間



夜間



諸般の事情により、まとまった人数でフィールド教育の継承・発展が困難な大学の学生を対象として、地質調査の基礎的な訓練をする場を学会の支部活動の一環として提供。

京都大学理学部地球惑星科学専攻
地質学鉱物学教室の協力で実施。

関東支部からの参加者（4名）

実習終了直後



丹沢ミニ巡検

飛躍的に進歩した年代測定技術により、新たな火成・変成年代が各地で報告されている。Tani et al, 2010による丹沢深成岩類のジルコンU-Pb年代の多くは4~5Maを示しており、主要な丹沢深成活動は衝突中ないし衝突後のものであることを示しています。これは旧来の概念を覆すものであり、周辺の変成岩の成因やテクトニクスを考える上で重要な制約を与えるものです。今回の巡検では、露頭の前に新たな目線で丹沢の火成・変成活動について議論しました。



日程：2013年11月30日（土）～12月1日（日）
案内者：谷健一郎さん（国立科学博物館）
桑谷 立さん（東北大）

参加者：一般11名，学生4名
費用：一般13,000円
学生12,000円

見学地

1日目 神奈川県足柄上郡山北町周辺 (深成岩体南部および及び変成岩類)

- × トーナル岩体（畦ヶ丸型）の内部構造と苦鉄質マグマの相互作用
- × トーナル岩体（畦ヶ丸型）と変成岩の貫入境界
- × 丹沢変成岩角閃岩相
- × ザクロ石を含む流紋岩岩脈
- × 丹沢変成岩緑色片岩相
- × 丹沢変成岩プレナイトーパンペリライト相

2日目 山梨県南都留郡山中湖村～道志村周辺 (深成岩体西部・北部)

- × トーナル岩体（石割山岩体）中の包有岩濃集帯
- × トーナル岩体（畦ヶ丸岩体）周縁部のマグマ流動に伴う構造
- × トーナル岩体（畦ヶ丸岩体）周縁部のマグマ流動に伴う構造
- × ハンレイ岩体（道志岩体）
- × トーナル岩マグマ溜まり内の局所的な対流構造（的様）



塩原動物群化石巡検

- × 1 日時 平成25年8月7日(水)～8月8日(木)
- 2 場所 栃木県那須烏山市、那珂川町、那須塩原市周辺
- 3 案内 青島睦治氏(元栃木県立博物館)
- 4 見学地 7日(水) 那須烏山市南大和久、那珂川町小川
8日(木) 那須塩原市金沢、那須野が原博物館
- 5 参加者 8名(一般参加6名+世話人2名), レンタカー使用

概説

- ・ 2013年3月の「房総・三浦地質研究サミット」を受けて、教育関係者を対象に企画。
- ・ 猛暑だったが参加者は、たくさんの化石を採集できた。
- ・ 参加者は、現職の中高教員か教育関係者。化石を授業等で使う等，“地学教育への展開”が期待できる。
- ・ 青島先生に厚くお礼申し上げます。



富士山巡検

× 平成25年11月2日～11月3日

講師：千葉達朗（アジア航測株）

巡検スケジュール概要

× ・11/2（土）

- × 10:00 富士急行電鉄富士山駅集合
- × 10:40 道の駅なるさわ～ジラゴンノ
- × 12:20～16:00 西湖～精進湖～本栖湖周辺
- × 17:30～17:50 紅富士の湯（入浴）
- × 18:10 山中荘到着
- × 18:30～19:50 夕食
- × 20:00～22:00 1日目のまとめ、勉強会
- × 22:00～24:00 勉強会の続き

× ・11/3（日）

- × 8:00 山中荘出発
- × 8:30 忍野八海
- × 9:30 雁穴火口（陸上自衛隊北富士演習場内）
- × 14:00 御庭火口
- × 16:30 河口湖駅
- × 17:30 JR大月駅 解散



支部会計

2013年度収支報告(1)

一般社団法人 日本地質学会
2013年度収支計算書 関東支部

科目	支部合計	支部の管理活動	地質技術伝承講習会	緊急集会	房総ミニ巡検	塩原巡検	備 考
1.事業活動収支							
事業活動収入							
補助金収入	6,300	0	6,300	0	0	0	技術伝承:共催の関東地質調査業協会から補助
事業収入	1,351,223	0	0	213,500	239,000	60,000	
事業活動収入計	1,357,523	0	6,300	213,500	239,000	60,000	
事業活動支出							
事業費支出							
事務費支出	1,320,887		12,214	246,130	210,900	86,067	
旅費交通費支出			12,214	14,530	209,700	85,387	
通信運搬費支出			0	0	0	0	
消耗品支出			0	231,600	1,200	680	
施設費支出	14,700		14,700	0	0	0	技術伝承講習会:会場費
保険料支出	30,343		0	0	10,500	4500	
諸謝金・会費支出	30,000		0	10,000	0	0	
事業費支出計	1,395,930	0	26,914	256,130	221,400	90,567	
管理費支出							
事務費支出	99,425	99,425					
旅費交通費支出		53,250					支部の活動:幹事交通費(幹事会・イベント運営)
通信運搬費支出		0					
消耗品支出		46,175					
施設費支出	0	0					
管理費支出計	99,425	99,425	0	0	0	0	
事業活動支出計	137,832	99,425	20,614	42,630	+17,600	30,567	
事業活動収支	▲137,872	▲99,425	▲20,614	▲42,630	17,600	▲30,567	

支部会計

2013年度収支報告(2)

一般社団法人 日本地質学会
2013年度収支計算書 関東支部

科目	支部合計	清澄フィールド キャンプ	富士山巡検	伊豆衝突サ ミット	丹沢ミニ巡検	備 考
1.事業活動収支						
事業活動収入						
補助金収入	82,000	0	0	0	0	
事業収入	663,000	88,400	380,000	177,500	192,823	
事業活動収入計	745,000	88,400	380,000	177,500	192,823	
事業活動支出						
事業費支出						
事務費支出	1,320,887	172,988	279,148	151,814	161,666	
旅費交通費支出		168,839	277,888	22,000	155,616	
通信運搬費支出		0	0	0	0	
消耗品支出		4,149	1,260	129,814	6,050	
施設費支出	14,700	0	0	0	0	
保険料支出	30,343	8,560	0	0	6783	
諸謝金・会費支出	30,000	0	20,000	0	0	
事業費支出計	1,395,930	181,548	299,148	151,814	168,449	
管理費支出						
事務費支出	99,425					
旅費交通費支出		0	0	0	0	
通信運搬費支出		0	0	0	0	
消耗品支出		0	0	0	0	
施設費支出	0	0				
管理費支出計	99,425	0	0	0	0	
事業活動支出計	137,832	93,148	+80,852	+25,686	+24,374	
事業活動収支	▲137,872	▲93,148	80,852	25,686	24,374	⇒137,872は本部から補填

特別会計 2013年度収支報告2

一般社団法人 日本地質学会 2013年度収支計算書 関東支部

幹事会預かり金(旧関東支部残金) 会計報告 (2013.4～2014.3)

2014/3/31

収 入

項目	金額	備考
繰り越し金 *	2,049,914	
雑収入	19,166	
計	2,069,080	

支 出

項目	決算	備考
サミット準備費	25,686	
次年度繰り越し	2,043,394	